

令和4年度 福島県立保原高等学校 全日制課程 経営・運営ビジョン

教育目標

- I 校訓「質実剛健」「和衷協同」の気風を高め、自主独立の精神に満ちた人間を育成します。
- II 個人の生命と人格を尊重し、健全な心身を持った人間を育成します。
- III 基礎学力を身に付けさせ、生きる力を持った人間を育成します。

新しい時代に逞しく生きる人材を育成します

校長 高橋 文彦

今年度、本校は記念すべき創立百周年を迎えます。そして、来年度には統合により伊達高等学校となります。そのため、今年度学校で行われる一つ一つすべてが、保原高等学校として最後となります。生徒達には、高校生活とは限られた期間であることを自覚させ、「今を大切に」全力で取り組ませることが出来る絶好の機会と考えております。この節目の年に、生徒がチャレンジ精神と学びの心を持ち、新しい時代を切り拓くために必要となる知徳体の総合力の習得に向け、「学力の向上」「豊かな人間性の育成」「進路希望の実現」「開かれた学校づくり」を目標とし、具体的な重点事項を掲げて実践して参ります。更に、地域と連携した取り組みを充実させることにより学校の活性化を図るとともに、地域の未来を担う人材の育成に取り組んで参ります。

チャレンジ精神と学びの心で未来を拓く

1 学力の向上

- ① 授業時数の確保に努め、授業研究の充実を図ることにより、分かりやすい授業、魅力ある授業を実践し、学力の向上に取り組みます。
- ② 教科学習のガイダンス指導を充実させ、適切な学習課題により家庭学習の習慣化を図り、生徒が自己の学習法を確立するよう指導に努めます。
- ③ コース制を取り入れた教育課程の工夫により、多様な進路希望に対応した授業を展開していきます。
- ④ 幅広い知識やものの考え方を身につけさせるため、読書の奨励や図書館利用の促進に努めます。

【今年度の重点事項】

- A ICT教育を推進し、主体的かつ探求的な学びを深める工夫（含む一人一台端末の実践活用）
- B コロナ禍の下、学びの質・量の確保の工夫、行事等の実施を工夫

2 豊かな人間性の育成

- ① 規範意識を高めるとともに、身だしなみや挨拶等の基本的な生活習慣の確立を図り、日常の生活指導の充実に努めます。
- ② 部活動・委員会活動や生徒会行事等の活性化を図り、生徒の自主性や連帯感の育成に努めます。
- ③ 生徒理解を一層推進するとともに、スクールカウンセラー等と連携を図りながら、個に応じた親身な指導を実践し、心身ともに健康な学校生活を送ることができるよう支援します。
- ④ 清掃やボランティア活動等を通して、奉仕と思いやりの精神や自主性の育成を図ります。

【今年度の重点事項】

- C 生徒一人一人に寄り添った組織的な支援体制の充実
- D クラスや部活動、委員会等によるボランティア活動や地域行事への積極的な参加

3 進路希望の実現

- ① 様々な場面での指導を通して、望ましい勤労観・職業観や社会性の育成に努めます。
- ② 生徒が早期から進路への意識や関心を高めることができるよう、生徒や保護者に進路情報を的確に提供します。
- ③ 生徒全員の個別面談等のきめ細かな親身の指導を通して生徒の自己理解を深めさせ、自ら未来を開拓できる力の育成に努めます。
- ④ 課外指導や小論文指導などの進学や就職対策を充実させ、生徒の進路希望の実現を図ります。

【今年度の重点事項】

- E 国公立大学をはじめとする生徒の希望する上級学校への進路実現
- F 学年進行で実施する進路指導・行事を通じた個に応じた丁寧な指導
- G 社会状況に対応した就職・進学指導

4 開かれた学校づくり

- ① 地域と連携した教育活動の推進に努めます。
- ② 本校の特色や生徒の活躍等をHPや学校説明会等により、中学校や地域等へ積極的に情報発信します。
- ③ 学校と家庭の連携を強化するとともに、PTA活動の充実を図ります。
- ④ 同窓会・PTAと協力して創立百周年記念事業を実施して参ります。
- ⑤ より良き統合校へ検討を重ね、統合校に関する情報発信に努めます。
- ⑥ 学校事故の防止を徹底し、安全、安心な学校づくりの推進に努めます。

【今年度の重点事項】

- H 教科、特別活動における地域連携
- I 本校の特色・生徒の活躍等の中学校・地域等への積極的な情報発信
- J 創立百周年事業に関する活動
- K 統合校の検討及び情報発信